

担当教員授業題目		地質調査基礎演習（茨城大学）				担当教員	安藤 寿男 他
英文授業名		Basic exercise for geological field survey					
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中	対象学年	2
授業形態	実習	備考	4泊5日の合宿				
(1) 授業のねらい		野外地質科学の前提となる基礎的な地質調査能力の修得を目的として、フィールドの歩き方、露頭観察・記載の仕方の基礎を体得し、ルート地質調査データから地質ルートマップ・地質柱状図を作成する能力を培う。					
(2) 授業の概要		茨城県内のフィールド(大子町の新第三系の堆積岩)を主対象に、野外地質調査を行う。具体的な実習項目：1. 地質調査用具の使用法, 2. 歩測による簡易測量とルートマップ作成, 3. 基礎的な露頭観察・記載, 4. ルート地質調査, 5. 地質柱状図および地質ルーマップの作成					
(3) 授業計画		<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス：授業の進め方および地質調査用具の使用法の解説（実習直前に実施）。 ・野外実習： <ul style="list-style-type: none"> 1日目：日中、調査ルート（林道）の簡易測量（歩測+オリエンテーリングコンパス使用）を行い、ルートマップの作成を行う。夕食後、研修室にてルートマップを完成させる。 2日目：日中、1日目に作成したルートマップを元に、ルート沿いの地質調査（露頭の観察・記載実習）を行う。夕食後、研修室にて地質ルートマップおよび地質柱状図の作成を行う。 3～4日目：日中、川沿いのルートを1:5,000地形図を元に、地質調査を行う。夕食後、研修室にて地質ルートマップおよび地質柱状図の作成を行う。 5日目：午前中、研修室にて引き続き地質ルートマップ、地質柱状図を完成させ、野帳の清書も行い、午後にはそれらを提出する。 					
(4) 成績評価の方法		提出物（地質ルートマップ、地質柱状図、フィールドノート）で評価する。					
(5) 履修上の注意		9月中・下旬（予定）、茨城大学大子研修所を利用し、4泊5日で野外実習を行う。研修所滞在費（宿泊費・食費）および現地での移動のための交通費は自己負担（合計約1万円程度）である。					
(6) 質問、相談への対応		事前に必要な準備や持ち物等を含め質問・相談は、連絡先アドレス <makoto.okada.sci@vc.ibaraki.ac.jp>（岡田 誠）で随時受け付けます。					
【教科書】 フィールドジオロジー入門（天野一男・秋山雅彦著，共立出版）							
【参考書】 地質図学演習（岡本 隆・堀 利栄著，古今書院）							

